

患者の皆様へ

2021年6月7日

リハビリテーション科

現在、リハビリテーション科では、「重症筋無力症の客観的な咳嗽力評価として Cough peak flow 測定の信頼性と妥当性」に関する研究を行っています。Cough peak flow (CPF) とは、咳の力を測定する方法であり、重症筋無力症の呼吸症状を客観的かつ早急に把握し今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2015年1月から2020年12月まで当院に入院されリハビリテーションを実施された患者様の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「重症筋無力症の客観的な咳嗽力評価として Cough peak flow 測定の信頼性と妥当性」

2. 研究の意義・目的

「重症筋無力症患者に対して CPF 測定の信頼性と重症筋無力症の呼吸機能および重症筋無力症の包括的評価との関連を明らかにすることを目的とする」

3. 研究の方法

「2015年1月から2020年12月の間において、診療録に記載されている身長・体重・診断名などの一般診療情報、血液検査・呼吸機能検査などの検査データ、重症筋無力症の評価と CPF の関連について調べる」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名・住所・生年月日などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院リハビリテーション科臨床研究室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

6. 利益相反について

本研究には、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院 リハビリテーション科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院リハビリテーション科

理学療法士 黒岩 良太

043 (222) 7171 内線 6428 (リハビリテーション科受付)